

技術・家庭科（家庭分野）1年生シラバス

1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：生活と技術について理解できる。 技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。	思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。 判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。 表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。